

## C 協働学習 (C3)

## 主な学習活動

ALTに福島の行きたいところや、そこでしたいことを尋ね、おすすめを紹介するガイドブックを作成し発表する。

## 1 本時のねらい

ALTに福島の行きたいところや、そこでしたいことについて尋ね、ALTの答えに対しておすすめを紹介することができる。

## 2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

Google Jamboard

電子黒板

## 3 参考にしてほしいポイント

Google Jamboardを活用することにより、一人一人がまとめた付箋を基に、おすすめを紹介するガイドブックを班で協働して作成することができる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	ALTに福島の行きたいところやそこでしたいことを尋ね、おすすめを紹介するガイドブックを作成し発表する。	(Google Jamboard) 調べたことを、付箋機能を用いてまとめ、それを基におすすめを紹介するガイドブックを班で協働して作成する。 (電子黒板) 班で作成したガイドブックを電子黒板に映し、発表することで学級全体で共有する。

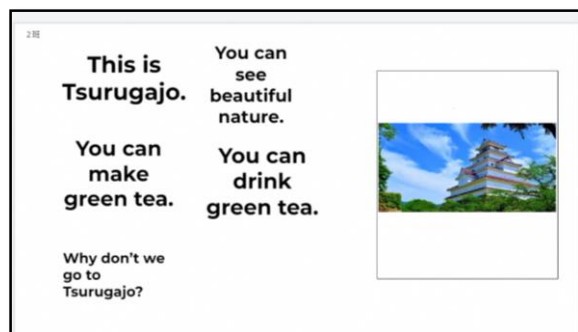
タブレット

+

電子黒板



会津にはどんな有名なものがあるかな、そこで何ができるかな？



班で作成したものを電子黒板に映し、全体で共有する。

## 4 活用効果

生徒は、一人一人が調べたことをGoogle Jamboardの付箋機能を使ってまとめた。それを基に班で協働してガイドブックを作成した。同時編集の機能を生かし、協働学習の効果をより高め、ALTにおすすめを分かりやすく紹介するなど思考力や表現力の育成につなげることができた。また、他の班の作成したものを電子黒板に映すことで、様々な表現を共有することができた。

## 5 アドバイザーからのコメント

この学習は、福島の名所旧跡や紹介したい内容を、英語でガイドブックとして作り上げる活動です。それは一種の作品づくりの側面もありますが、誰でも作品を作る場合には、美しく仕上げたいと思うので、そこに創意工夫が見られ、正しい英語を習得する活動につながります。(東京工業大学 赤堀侃司)

同時編集は他者とも思考を共有し、まとめ上げていく上で有効に働く手段となり得ます。グループでの作業に入る前に自身の考えをまとめて残しておく、他者の考えをどの程度取り入れたかが分かるため、協同作業の有用性を実感することができると期待されます。(福島大学 平中宏典)